

ふたかみ NEWS プチトマト



ほまれっこ

夏のおもいで



アマビエ制作♪無病息災!



プール満喫(*^^*)



スイカ割り!



花の文化園へみんなでお出かけ☆



今年も楽しい夏休
みを過ごすことが
出来ました♪♪

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥3-16-1 木村ビル4階 TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



羽曳野市商工会発行

「Thanks.グッジョブ・チケット」

新型コロナウイルスワクチンの接種を終えられた方に羽曳野市内の登録店舗で使用可能な商品券「Thanks.グッジョブ・チケット」(おひとり2,000円分)を受け取ることが出来ます!
このチケットは「ハピバール」でもお使いいただけます♪是非!この機会にご利用くださいませ!!

※受け取り方法など詳しい情報は、ホームページに記載されていますので「羽曳野市 グッジョブチケット」で検索してみてください(^^)!



古着市開催します!!

ぶらす ミニバザー
(雑貨・食器等あり)

ふたかみ福祉会後援会では、コロナ禍により昨年度は中止となったバザー・古着市をこの度、感染症対策を行ったうえで実施することになりました。当日は規模を縮小し、古着をメインとしたイベントとなる予定です。

11月13日(土)10時~14時

雨天中止(小雨決行の場合あり)

場所: 翠鳥園遺跡横空き地

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況などにより、内容の変更や中止の可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

【2021年度8月】

・林満里 細井聡子 土井寛子 山本明子 竹東公子 嶋宏明 萱原希 大内芳子 桑原一章 森義彦
.....以上1口

■寄付金 山本明子様

■ボランティアであい様/畑英作様/細川直幸様/松倉和代様/垣内秀夫様

■アルミ缶回収(8月分)1,256kg

ありがとうございました

◆2021年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では用地を確保し、暮らしの場の建設が始まりました。

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援とともにご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費: 1口3,000円 団体会費: 1口10,000円】 郵便振替口座: 00940-5-325894

障害福祉の未来を変えるセミナー

9月4日と5日の両日で、ZOO 法人大阪障害者センター主催の研修にZOOMで参加しました。

1日目は、鹿児島大学の伊藤周平氏、元立教大学教授の平野方昭氏、日本障害者協議会理事の佐藤久夫氏による講演でした。各氏ともに、新型コロナウイルスによってたらされた課題という話をもとに、伊藤氏は、国内統計から見える課題と今後。平野氏は、福祉サービス事業所・福祉経営に与えた打撃と報酬制度の抜本的な見直し。佐藤氏は、WTO・国連及び国際ZGOの提起からの提言というものでした。

日々の実践をしている中で、肌身で感じていても、なかなか知り得ない様々な情勢や具体的な情報を統計や国からの通知、海外からの提起で知り得るよい機会となりました。2日目は、大阪障害者センターの井上泰司さんの基調報告で、障害者総合支援法「3年後の見直し」を考えるという内容

でした。そもそも障害者総合支援法はなぜ出来たのかという所から、この間の状況で明らかになった課題や実効性のある総合支援法への改正に向けた議論の構築という内容でした。

また、高齢者福祉の現場からのクラスター報告や生活介護や就労継続、グループホームや相談支援といった各現場からの現状の対応とそこから見える課題などの報告がありました。

障害福祉の現場からの報告も普段の自分の実践で体感している部分もあり、大いに考えさせられる内容でありました。印象的であったのが、高齢者福祉の現場で、大阪市にある城東特別養護老人ホームの施設長である中島素美氏のクラスター報告でした。職員や利用者が罹患していく中で、現場の対応もさることながら、行政や保健所の対応から見える社会保障の脆弱性や公助の矛盾など、運営上や組織上、制度上の課題がしっかりと見えてくるものでした。

両日参加した上で改めて感じた事ですが、障害児者福祉においては、このように問題提起があった事に對

して、福祉サービス事業所や団体、なかま・家族とともに、国や制度・施策に対して、声を上げ行動することは、すごく強みであると感じています。他の分野で従事していた時には、このような事はほとんどというかほぼありませんでした。疑問に思っても、「声を挙げられない」というもどかしさを感じた自分を思い出しました。

新型コロナウイルスの影響で、以前のようにみんなで集まってしまう形は現状難しいですが、ZOOMのような形で、学習したり、みんなで考えたり、共通認識も持つことや問題を提起をする事、アクションを起こす事、運動を継続していく事の重要性を改めて感じる事が出来ました。

新型コロナウイルスが様々な課題をもたらしたとともに、社会保障の脆弱性が明るみになった現状を、みんなでともに考えながら、声を上げて、よりよい社会を作っていくたいと思えた2日でした。(山下)

パネル展

支援センターはる(南河内北障害者就業・生活支援センター)の事業としてパネル展「働く障がい者の姿」を実施しています。地域で働く様子を皆さんに知っていただけるように、現場の人の声やご本人の意気込みなどのインタビューも張り出しています。実際にどのような仕事に携わり、会社の人にとどのようなサポートを受けながら働き続けているのか、たくさんの人に知っていただけるような取り組みになっています。

- ★10月展示予定★
- ・10月4日～10月8日
- ・羽曳野市立綾南の森総合センター2階展示ホール



10月にも展示予定をしておりますので、ぜひ足をはこんでみてください。(伊藤)

みんなでネットショッピングをしよう!!

8月11日に、ハピバールは夏のボーナスの取り組みを行いました。コロナウイルスの影響で活動が制限される中、なかまからは「買い物に行きたい!」という声がたくさんあり、なかまと話し合いをする中で、「ネットショッピング」をする事に決めました。なかまのほとんどがネットショッピングを利用した事がないという声があり、今回の取り組みは良い経験になったと思います。

お昼ご飯は、近くのお店でテイクアウトをしました。やはり、マクドナルドが1番人気でした。お昼ご飯を食べた後は、いよいよネットショッピング開始!順番に欲しい物を、Amazon や楽天で検索しました。自分の欲しい物がパソコンの画面上に出てきて、なかまのみなさん満面の笑みでした。ネットショッピングが終わる、商品を届くのを待つのみ...



2日後くらいから、続々とハピバールに商品が届きました。「届いた!」というなかまの嬉しそうな声がたくさん聞こえてきました。終わりの会で、自分の届いた商品の発表会を行いました。今回、コロナウイルスの影響で活動が制限される中で、「こういった買い物の方法もあるんだよ!」と知ってもらえたのも良かったです。(阪本)

リサイクル班

*

土曜開所の取り組み

9月4日の土曜開所は、緊急事態宣言中でもあり、班ごとの交流を最小限にする為にも、各班での取り組みとなりました。

リサイクル班では、布の端切れを使って染め物を行いました。輪ゴムだけを使って絞ったり、スパーポールを包んで絞ったり、どんな模様になるか想像をしながら制作を行いました。以前に染め物を行った際には、水性の絵の具を使用し、あまり濃い色が出ずに淡い染色となったので今回は、アクリル絵の具を使用し、より鮮やかな染色をすることが出来ました。

布を絵の具の入った容器に浸ける時には、豪快に染色する仲間、ビニール手袋をつけているものの戸惑いを隠せない仲間など反応は様々でした。ま



た、容器に浸けず筆を使って布に直接色を塗る仲間もいました。当日は、あいにくの雨で乾かすに完成品を見ることが出来ませんが、月曜日に乾いた布の輪ゴムをほぐすと、一枚一枚違った模様の染め物が出来ていました。「すごいな」「これ僕はや」など仲間の嬉しそうな笑顔も見ることが出来ました!今後は、これらの染め物を何かにアレンジして活用できないかなと、班で模索しているところです。(辰巳)